

第6期 ADTA トレーニングセンター

ADTA トレーニングセンター所長 渡部 晃生

2月29日（土曜日）3月1日（日曜日）にADTA トレーニングセンターの第8回目の授業が行われました。

第8回目の総合授業は本来、第1回から第7回目までの授業日程の中で完成まで出ていない提出補綴物を完成させる為の予備日として予定をしていました。しかし今期はすべての受講生が授業日程内に各授業の提出補綴物を無事完成することが出来ました。そのため第8回めは予備日ではなく授業内容を変更し開催することに致しました。

2月29日、午前は予定通り川村真一先生による歯牙彫刻の授業を行っていただきました。

変更した授業内容ですが、29日の午後からは鈴木宏輔先生によるシングルセントラルのモノリシックZRへのステイン法をシェード写真を見ながら、GC新製品のスペクトラムステインを使用しグレース完成までの実習をしていただきました。受講生も新製品を一早く使用した授業は興味深く大変勉強になったのではないのでしょうか。

3月1日の授業内容は午後1時から1時間、加藤雄一郎先生による硬質レジン前装冠についての講義をしていただきました。昨年の7月第2回目の実習で行われた年齢層状築盛法をより詳しくまた分かりやすくスライドを見ながら説明していただきました。天然歯の内部構造をいかに硬質レジンの築盛で再現するかという加藤先生の理論とこだわりを厚く感じた内容でした。受講生には大変良い復習になったのではないのでしょうか。

2時15分からは1時間30分、私がCAD/CAMを使用したインプラント技工（歯科技工士の立ち位置から考えるインプラントプランニングソフトを活用した歯科技工）という内容で講義をいたしました。内容としてはCAD/CAMを使用してインプラント技工を行う上で、プランニングソフトをドクターとのコミュニケーションツールとして使用し、インプラントプランニングのガイドライン、審査診断の重要性、インプラント技工の種類による材料の選択などを説明させていただきました。受講生は眠たそうな顔もせず真剣に講義を聞いてくれました。

最後に3時45分から1時間程、岡田常務理事からADTAトレーニングセンターの目的、日技認定講師について、また認定専門歯科技工士制度の重要性などについて講義していただきました。認定専門歯科技工士制度の重要性についての話は大変興味深く、一人でも多くの県技会員にも聞いていただきたい内容でした。

今期は受講生が4人と少人数でトレーニングセンターとしては少々残念な結果となりました。しかしながら受講生にとっては講師の先生との距離は非常に近く、大変充実した授業になったのではないのでしょうか。第8回の授業が終了したあとに、ADTAトレーニングセンターについて受講生からは「大変勉強になりました」「とても楽しく勉強が出来ました」「終わってしまうのが寂しいです」など大変うれしい言葉ももらいました。残念なのは新型コロナウイルスのため3月15日（日曜日）に予定しておりました、第6期の修了式と関錦次郎先生の修了記念講演が中止になったことです。終息の目途もたたず今後の予定も現在未定です。

最後に無事、第6期ADTAトレーニングセンターが終了しましたのも講師の先生方、執行部の皆様のご協力のおかげだと思っております。ADTAトレーニングセンター所長として大変感謝いたします。



